

KAGGO

SHIMAA

GAMMU

RYU 2024

九州大学 文学部人文学科 合格

「玉龍で得たもの」

宮脇 優 鹿玉龍中出身
書道部

私は、中学校・高校生活を玉龍で送る中で、自分が学びたいことを見つけ、それを学んでいくための一歩を踏み出すことができました。

この玉龍には、私たち生徒の興味・関心を引き出すような授業やお話をしてくださる先生方や、部活や勉強に一生懸命に励む友達を全力で応援してくれる素晴らしい仲間がいます。また、他の学校では経験することのできない「玉龍郷中」では、高校生が中学生に勉強を教えることで、互いが普段学んでいることを深めることができます。こうした恵まれた環境があったからこそ、学ぶことに対して前向きな気持ちを持ち、たくさんのことを吸収することができたのだと思います。

もちろん、勉強に対して後ろ向きな気持ちになり、うまくいかずに落ち込むこともありました。そんなときにいつも私を支えてくれたのは、玉龍で出会った友人でした。特に部活を共に励んできた友人は、いつも私を笑顔にしてくれる、かけがえのない存在です。

部活動も充実している玉龍では、同じ目標に向かって共に励むことのできる、かけがえのない存在に出会うことができるはずですよ。

鹿児島玉龍は、自分を大きく成長させ、夢に向かって一歩踏み出すためのきっかけとなる経験、出会いにあふれた学校です。そんな玉龍で、自分の財産となる豊かな三年間を過ごしてみませんか。



熊本大学 工学部材料応用化学科 合格

「玉龍高校での三年間」

橋口 明 伊集院中出身
ソフトテニス部

私は、玉龍高校でとても充実した三年間を送ることができました。玉龍中学校からの進学者が半数を占めるこの高校には、早くから高い目標を持った仲間がたくさんいます。そのような仲間たちと同じ空間で過ごしたことはとてもいい刺激になったと思います。また、玉龍高校には一人ひとりの進路実現を手厚くサポートしてくださる先生方がおり、いつ質問に行ってもわからないところを丁寧に解説してくれます。また、自分の志望校に合格するにはどういった力をつけるべきか、どこに力を入れて勉強するべきか、などの的確なアドバイスをしてくださいます。こういった先生方や、一緒に切磋琢磨した友人たちは、私の大学合格の大きな要因になったと思います。

部活動では、キャプテンを努めたことで、集団をまとめる難しさなどさまざまなことを学ぶことができました。辛いこともありました。が、同級生の仲間と練習を重ねていくうちに、いつの間にか部活に行くのが楽しくなり、授業を乗り越えた後の1日の楽しみになっていました。そして引退までみんなでやり切ったことは一生の思い出です。

私たちはコロナの流行とともに入学し、様々な行事が縮小または中止になりました。しかし、縮小されてもみんなで取り組んだイベントはとても満足感のあるもので、特に高3の昇龍祭で、クラス一丸となってステージパフォーマンスをしたことや、体育祭でたくさんの応援に支えられての競技は、あたりまえと思っていたことにあらためて感動できる素晴らしい体験でした。

皆さんも文武両道の環境が整っている玉龍高校に入学して、充実した高校生活を過ごしてみませんか。自信をもってお勧めします。



東京藝術大学 音楽学部器楽科 合格

「玉龍は文武両道」

厚東 仁菜 吉野中出身
吹奏楽部

玉龍は文武両道、自分の極めたいことを本気でできる学校です。

私は高入生で不安がありましたが、早い時期から大学受験を意識する中入生との出会いはとても刺激になりました。それぞれ目標は違えど、日々、互いに認め合い高め合える仲間とそれを力強くサポートしてくださる素敵な先生方。そんな玉龍生を応援する「チーム玉龍」は、強い意志を持って目指したい道を追求できる原動力となります。

私は三年間吹奏楽部に所属し、部長を務めました。全国高等学校総合文化祭東京大会に鹿児島代表として出場できたことは、私の吹奏楽人生で印象に残っている思い出の1つです。玉吹だからこそできた経験、出会えた仲間は一生の財産です。

最後に私の尊敬するホルン奏者に向けられた言葉を皆さんにも送ります。

「音楽は終わらない世界だから苦しくもあり、楽しくもある。コンクールやオーディションに受かってスタートライン。」

この言葉は音楽だけでなく、色んな分野にも当てはまると思います。

本気で頑張るあなたにとって環境の整った玉龍で最初の夢へのスタートラインに立ち、無限の可能性を見つけて欲しいです。



筑波大学 理工学群化学類 合格

「玉龍だからこそ見える景色」

迫田 康太 鹿玉龍中出身
硬式テニス部

私が玉龍で学んだ6年はとても濃いものでした。玉龍には、勉学に集中できる環境があり、共に高みを目指し合える友達もいて、自分の進路実現に親身に協力してくれる先生方も多くいらっしゃいます。そんな環境で学べたからこそ、今の自分がいると思っています。

玉龍のみんなは勉強だけでなく、部活にも様々な学校行事にも全力で取り組んでいたため、私も負けまいと頑張ることができました。

私は高校受験を経験していなかったため、高校に進学する際には少し怠けの心がありました。そんな中、高校から進学してきた意識の高い仲間のおかげでここまで高みを目指そうと思うことができたと思うので、玉龍でできた仲間のお陰で進路実現をできたと思います。

また、玉龍高校には自分の熱意に親身に応えてくれる先生方が多くいらっしゃいます。私が自分のやりたいことを見つけたのも、一部先生のおかげでもあったと思っています。分からないところは授業が過ぎて、昼休み中も、放課後も私が納得するまで教えてくださいました。

高校生活は、中学の時よりも本当に多くのことを学ぶため、かなり比べ物にならないくらい辛いと思います。しかし、高校生になるとできることも増え、本当に楽しいこともあります。楽しい時には仲間と、先生とたくさん共有してほしいですし、辛い時には頼れる仲間や先生にたくさん頼ってください。

私は玉龍に入学して、自分のやりたいものを見つけ、志望する大学に合格することができました。皆さんが絶対にこれはやりたい！というものがあるのならその進路の実現のためにも玉龍で三年間を過ごしてみませんか。



鹿児島大学 法文学部人文学科多元地域文化コース 合格

「玉龍で充実した三年間を」

田畑 京佳 谷山北中出身
美術部

私は、中学1年生の時に学校であった高校の説明会で、玉龍高校の話聞いてから玉龍に行きたいと思い、この玉龍高校へ入学、そして卒業することができました。

この三年間、勉強する意味がわからなくなったり、学校をやめたいと思ったり、進路を変更したりするたびに、玉龍の先生方は真摯に私に向き合って対等に話し合ってください、私の選択する道を全て信じて応援してくださいました。学校全体の雰囲気も良く、玉龍生はすべての瞬間に真剣で、授業で分からないところは先生方に質問に行ったり、休み時間に友達同士でよく話しています。イベントは全力で騒ぎ楽しみ、終礼が終わるとすぐに部活などに急いで向かう様子は、私が玉龍で大好きな光景です。中学生も礼儀正しく、高校生にはない無邪気さや明るさを振りまいてくれて、いつも励まされます。

私は玉龍が大好きで、この学校を選んで本当に良かったと心から思っています。高校に進学しようとしているみなさん、ぜひ玉龍の一員になって充実した三年間を送ってください。必ず素敵な仲間や先生方に出会い、将来進む道を見つけられるはずです。



岡山県立大学 情報工学部人間情報工学科 合格

「本気で部活、本気で勉強」

濱崎 桜輝 颯娃中出身
野球部

私は玉龍高校で充実した日々を過ごせました。

私は野球部に所属しており、本気で甲子園を目指しながら学校生活を送りました。素晴らしい指導者のおかげで選手としても人間としても成長できました。

部活が終わった後は勉強漬けの日々でした。なかなか結果が出ず、苦しい時期もありましたが、野球部で培った諦めない心で最後まで頑張り切ることができました。前期試験が終わった後から中期試験・後期試験に向けて勉強を始めました。前期の合格発表が中期試験の当日だったので、合否が分からないまま中期試験を受けました。最後まで頑張り切れたのが最後の合格に繋がったんだと思います。最後まで添削指導してくれた先生や応援をして、声をかけてくれる先生方の支えなしでは合格できなかつたです。自分のように本気で部活をして、勉強もしたいという方は鹿児島玉龍高校が最適だと思います。玉龍高校で勉強と部活の両立で充実した三年間を送ってみてはいかがでしょうか？



夢のステージへの架け橋



鹿児島玉龍高等学校長

Ata Takefumi

阿多 威文

誰もが何かしらの夢を抱いています。では、その夢をかなえるにはどうすればいいでしょう。

2023年に創立100周年を迎えるウォルト・ディズニー・カンパニー。その創業者ウォルト・ディズニーは次のように語っています。

『The special secret of making dreams come true can be summarized in four C's. They are Curiosity, Confidence, Courage, and Constancy.』（夢をかなえる秘訣は、4つの「C」に集約される。それは「Curiosity-好奇心」「Confidence-自信」「Courage-勇気」そして「Constancy-継続」である。）

「Curiosity-好奇心」好奇心とは、物事を探求しようとする気持ちのことです。玉龍にはあなたの好奇心をかき立てるワクワクするような出会いがたくさんあります。

「Confidence-自信」自信とは、自分の価値や能力を信じることです。玉龍での学びを通してあなたに自信がみなぎります。

「Courage-勇気」勇気とは、困難や危険を恐れずに立ち向かう気持ちのことです。玉龍の仲間はあなたに一步を踏み出す勇気を与えてくれます。

「Constancy-継続」継続とは、物事を続けることです。夢をかなえるために努力を継続できるかどうか、それはあなた次第です。

玉龍には、行動をもってこれからの在り方を示唆してくれる先輩方がいます。時に励まし合い、時に競い合う級友たちがいます。玉龍での毎日が、きっと夢のステージへの架け橋となるはずで、4つのCを胸に、この玉龍で希望に満ちた未来、夢をつかみに行きましょう。

由緒ある学舎



本校の校舎が建っている敷地は、かつて薩摩藩時代の名刹であった「玉龍山福昌寺」が500年の歴史を刻んだ跡です。この福昌寺は旧藩主島津家の菩提寺であったと同時に、藩内随一の学問所として教育・文化の一大中心を成していました。明治維新の原動力になった先人達も、指導を受けています。この由緒ある史実にあやかり「行学一体」の鍛錬精神と「文武両道」の精神を本校教育のよりどころとし、その象徴として校名が「玉龍」と制定されたのです。平成2年、創立50周年記念事業の一つとして新体育館が建設されましたが、その発掘調査のとき、寺門にあった場所から中央部のへこんだ大きな踏み石が出てきました。それを見ていると、わらじ履きのすずやかな目をした若い学僧たちが、行脚のために出入りする様子が目に浮かんでくるようです。

本校は、このような学問の場にふさわしい環境のもとで、偉大な先人の精神を台木に青少年の心を接ぎ木し、新しい時代の教育の殿堂にしようと、鹿児島市が創立した普通科の高校です。

自覚に裏打ちされた自由な校風

昭和15年創立の鹿児島市立中学校と鹿児島市立高等女学校を前身とし、昭和25年鹿児島県玉龍高等学校、昭和32年に鹿児島玉龍高等学校と改められ、潑刺・躍進・玲瓏の校訓のもとに、発足した男女共学の学校です。

校名の「玉龍」は「玉龍山福昌寺」の跡に創設されたことに由来し、「玉」を中心に龍舌蘭三葉をもって包む校章は、玉の如き円満な人格と昇竜の如く躍進、向上する若さを象徴するものです。

令和2年に創立80周年を迎えた本校では、その間に培われてきた「文武両道」を合い言葉に、日々心身を鍛練し、知識を磨き、活気あふれる学校生活を生徒たちは送っています。一人一人の個性を大切にしながら各人の可能性を最大限に伸ばすために、学習環境の整備はもちろんのこと、学び方を学ばせるという基本方針のもとに、若いエネルギーを燃焼させています。混沌とした思考を重ねているうちに、機が熟せば先が見通せるようになるということを信じつつ、日々躍進している玉龍なのです。



鹿児島市立中学校



鹿児島市立高等女学校(鶴嶺高等女学校)

現在の制服



校章



進路実現のために

ここ3年ほどのコロナウィルスの蔓延によって、私たちの健康・生活・人間関係・学校・仕事を取り巻く状況は、それ以前と比べて、時に予想を上回る変化を強いられました。感染症のせいで起きた数々の悲劇はみなさんがよく知る通りです。その一方で、リモート授業・リモートワークが浸透し、仕事や組織、イベントが効率化・スリム化するなど、社会の在り方の変革も進んできました。いずれにせよ、私たちが成長しながら数多くのことを身につけなければならないわけですが、中でも、変化する社会で生きていく力の重要性が以前にも増して高まっています。しかし、残念なことに、私たちのすべてが変化に対応できているわけではありません。また、中には、スマホ・SNSに夢中になりすぎて、気力・体力・経済力をすり減らしてしまうなど、変化に踊らされ利用され自分を見失っている人もいます。したがって、変化に対応するだけでなく、適切に状況を判断しながら自分の意志を貫き、変化に惑わされない力も私たちは獲得しなければなりません。

そのような社会の在り方に応じる力を養う工夫が、みなさんの学校生活にたくさん設けられています。日常生活や社会生活をよりよくするために課題となることを自分で発見する力、その解決方法を考え決断する力、他の人々にそれを伝えて、協働しながら課題解決策を実行に移す力を、若者が養い身につけていける最善の場が高等学校なのです。ただし、知識や技能を正確に習得することは、これまでと同じように今後も大切であり、前述の様々な力の土台となります。

さて、玉龍高校は、創立以来のモットーである「文武両道」の実践と充実を図りながら、生徒一人ひとりの個性を大切に、これまで培ってきた人格と学力のさらなる向上を目指している学校です。

多くの生徒が大学進学を目標とし、朝課外や授業で学力をつけ、放課後は県大会上位入賞、全国大会出場を目標に部活動に取り組んでいます。朝早くから登校し、授業を受け、その後、部活動に参加して帰宅、それから翌日の授業の予習や宿題をする「文武両道」の実現は簡単なことではありません。しかし、玉龍には「チーム玉龍」という言葉があります。くじけそうなとき、困難に直面したとき、まわりには共に同じ目標に向かって頑張っている仲間がいる、それをサポートする先生がいる、支えてくれる家族がいる、そんな玉龍生を応援するすべての人が「チーム玉龍」です。



玉龍高校では、進路実現のために、次の5つのことに一生懸命取り組むことを生徒に求めています。

- 1 予習・授業・復習のサイクルの確立 …………… 授業が一番大切
- 2 規則正しい生活習慣の確立 …………… 起床・自宅学習開始・就寝の時間を一定に
- 3 学習習慣の確立 …………… 課題を確実にこなす
- 4 わからないときはすぐに質問 …………… 積極的に行動していこう
- 5 志望校の研究をする …………… 目標を具体的に知る

どれも当たり前のことです。受験勉強に特別なことは必要ありません。その学年、その月、その週、その日の学校の授業や行事、そして宅習に一生懸命取り組めば、着実に学力がつき、志望する大学に合格できます。三者面談や二者面談の時の担任の先生からの指摘や助言を謙虚に素直に真面目に受け入れて学力向上に努めることが進路実現には欠かせません。ただ、当たり前のことを当たり前にするには相当の自律心が必要なのも事実です。したがって、受験勉強は頭だけでなく、心を磨くチャンスでもあるのです。「受験」という知的冒険を経験し、心を磨く場所、それが玉龍高校です。高校受験で心を磨き、さらに素敵な人格へと成長したみなさんが、「チーム玉龍」の一員に加わり、ともに夢の実現を目指すことができるのを楽しみにしています。

令和5年度入試国公立大学 合格者数 123名

筑波大学	2名	九州大学	8名
東京外国語大学	1名	九州工業大学	3名
東京藝術大学	1名	鹿児島大学	57名
東京農工大学	3名	・医学部医学科	2名
大阪大学	1名	・共同獣医学部獣医学科	1名

国立大学 99名

東京学芸大学	1名
東京海洋大学	1名
奈良女子大学	1名
福岡教育大学	5名
佐賀大学	1名
長崎大学	1名
熊本大学	5名
大分大学	1名
宮崎大学	2名
琉球大学	1名

その他

公立大学 24名

川崎市立看護大学	1名
高崎経済大学	1名
静岡文化芸術大学	1名
静岡農林環境専門職大学	1名
岡山県立大学	1名
尾道市立大学	1名
新見公立大学	1名
広島市立大学	1名
下関市立大学	1名
高知工科大学	1名
北九州市立大学	5名
福岡女子大学	2名
長崎県立大学	4名
熊本県立大学	1名
宮崎公立大学	1名
名桜大学	1名

私立大学 277名

駒沢大学	3名
國學院大学	2名
成城大学	1名
成蹊大学	1名
専修大学	1名
中央大学	3名
東京女子大学	3名
日本大学	3名
法政大学	1名
明治大学	2名
立教大学	3名
早稲田大学	1名
関東学院大学	3名
中京大学	1名
立命館大学	2名
近畿大学	5名
西南学院大学	13名
福岡大学	30名
崇城大	10名
志學館大学	16名
鹿児島純心大学	13名
第一工科大学	6名
鹿児島国際大学	51名

合格者数は過年度卒生を含みます



前期

4 5 6 7 8 9 10 11

入学式
一日遠足
スポーツ交歓会

勸学祭
生徒総会
生徒会役員選挙
定期演奏会

昇龍祭(文化祭)

クラスマッチ

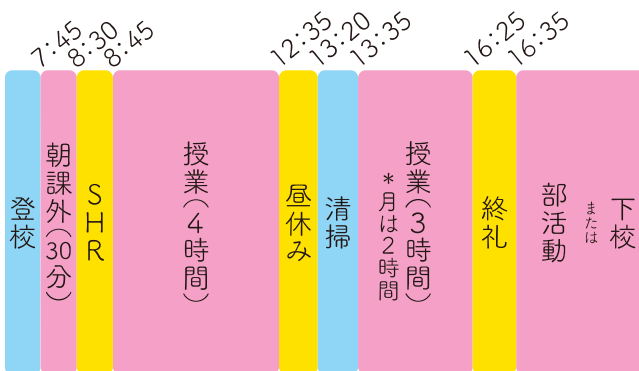
体育祭

芸術鑑賞会

長距離走大会

pick up

玉龍生の1日



玉龍文化の祭典「昇龍祭」

令和4年度の昇龍祭テーマは「華舞翔龍(かぶしゅうりゅう)」でした。この言葉にはどんな状況の中でも、チーム玉龍一丸となって最高の笑顔で、最高に楽しむ昇龍祭をつくりたいという気持ちが込められています。生徒会を中心として生徒たち自身が作り上げる玉龍昇龍祭は毎年熱気に溢れ、見どころ満載。

多くの方に来校いただき、好評を得ています。各学級・有志・部活動単位での参加があり、ステージ・展示発表・バザーなど、個性豊かな発表の場となっています。



国外体験学習 修学旅行(台湾)



昇龍祭(文化祭)



スポーツ交歓会

後期

12 1 2 3

修学旅行(2年)

卒業式

クラスマッチ

グローバルマインド発表会

長距離走大会(桜島)

グローバルマインド発表会

国外体験学習「修学旅行」

平成27年度から訪問地を台湾とし、3泊4日の日程で実施します。国外での様々な体験を通して、国際社会に貢献する生徒の育成を目指しています。現地の歴史や文化に触れ、日常生活を直接体験することで、グローバルな視野を拡大することをねらいとします。また、班別の自主研修では、現地の大学生と英語をベースとした会話による国際交流体験を通して、日頃の学習成果を試すことができます。歴史的にも日本とつながりの深い台湾で、様々な発見をすることでしょう。

(令和4年度はコロナ禍のため、国内体験学習に変更)

グローバルマインド発表会

高校1・2年生を中心に、総合的な探究の時間(玉龍の設定教科名は「グローバルマインド」)の研究発表を行います。グローバルマインドとは簡単にいうと「地球上に生きる人間として持つべき生きる姿勢・モラル」のことです。具体的には以下の4点と考えていいでしょう。

- (1) 基本的自己表現法を学び、積極的にかつ正確に自分の考え・意思を表現できる。
- (2) 基本的自己表現技法の中でも、特に文章による表現の導入を図る。
- (3) 現代社会の諸問題をグローバルな視点でとらえ、今後の国際社会のあるべき姿を主体的に考える。
- (4) 進路研究を通して、自己理解を深め、将来の自己のあるべき姿を主体的に考える。

週1回のグローバルマインドの時間では、課題別コースごとの研究活動、卒業生や知識人による講演会などを通じて、プレゼンテーション能力や、小論文といった自己表現能力を、培っていくことを目標にしています。

玉龍高校の設備

玉龍高校は近年増改築が進み、敷地内に充実した設備がたくさんあります。勉学に励む教室にはクーラーが完備され、それぞれ2つある体育館とグラウンドは行事や部活動でフル活用されています。玉龍高校には生徒たちの行学一体を支える充実した設備が備わっています。



第2グラウンド



教室はクーラー完備



図書館は蔵書数2万冊以上

交龍館

平成19年に完成した交龍館には、玄関ホールに作品鑑賞ができるギャラリー、2つの少人数用の学習室と、放課後自習が可能な多目的スペース「安田ホール」があり、生徒たちの多様な学習をサポートしています。

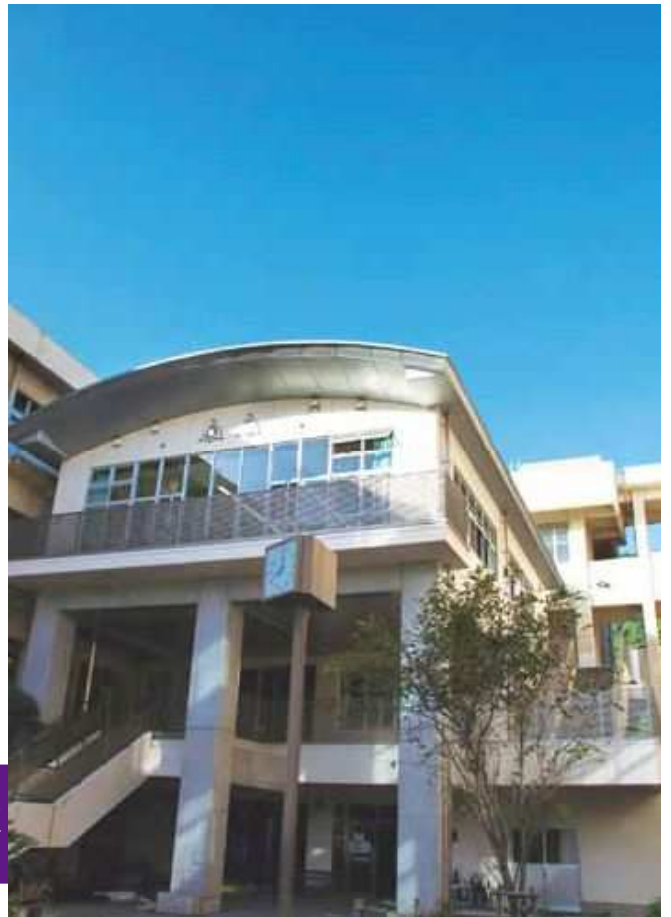


安田ホール

玄関ホール



交龍館



育龍館

平成13年に完成した育龍館には、120人を収容できる校内食堂(1F)と、80人を収容できる宿泊施設(2F)があります。宿泊施設には、浴室や保健室も完備され、部活動の合宿や勉強合宿などに幅広く活用されています。

2階「宿泊施設」



学食

その他、玉龍高校には充実した設備がたくさんあります。平成28年3月に改装工事が終了した芸術棟では、美しく学びやすい環境で芸術の授業が受けられます。同じく3月に改装工事が終了した屋内プールでは、天候に左右されず年間を通して水泳を楽しむことができます。他にも平成26年3月に完成した2階建ての屋内弓道場など、玉龍高校ならではの施設が整っています。また、いつでも使用できるパソコン室やトレーニングルームもあり、生徒たちの自主的な活動を支援し、学習や部活動の活性化につながっています。令和5年にはタブレットを1人1台導入し、学習に活用しています。



美術室



音楽室



屋内プール



屋内弓道場



学習用タブレット



トレーニング室

玉龍と言えど 部活動でしよ!!



Culture

Sports

吹奏楽
美術
写真
華道
サイエンス(生物班・天文班)

合唱
家庭
百人一首
JRC
将棋同好会

書道
放送
茶道
演劇

野球
サッカー
ラグビー
剣道
応援團

バスケット
バドミントン
バレーボール
硬式テニス
ソフトテニス

弓道
卓球
陸上
水泳

- 野 球** 第150回九州地区高等学校野球大会鹿児島県予選 ベスト4
- 男子バドミントン** 令和4年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ) バドミントン競技大会 出場
第57回全九州高等学校バドミントン競技大会 出場
- ラグビー** 第12回全国高校女子合同ラグビーフットボール大会 優勝
第24回九州高等学校10人制ラグビーフットボール大会 1位・トーナメント 3位
第9回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会 県予選 2位
第75回鹿児島県高等学校ラグビーフットボール大会 4位
第102回全国高等学校ラグビーフットボール大会 鹿児島県予選 3位
第45回鹿児島県高等学校新人ラグビーフットボール大会10人制の部 優勝
- 陸 上** 第75回全国高等学校総合体育大会 陸上競技南九州地区予選大会 出場
第75回鹿児島県高等学校総合体育大会 陸上競技女子100m 第6位
- 水 泳** 第69回全九州高等学校水泳競技大会
第84回末弘杯全九州高校選手権新人水泳競技大会
令和4年度鹿児島県高等学校春季水泳大会
・男子50m平泳ぎ 第1位・男子100m平泳ぎ 第5位・女子50m背泳ぎ 第4位・女子100m平泳ぎ 第8位・女子200m個人メドレー 第6位
令和4年度県高校総体水泳競技大会
・男子50m背泳ぎ 第3位・男子100m平泳ぎ 第6位・男子200m平泳ぎ 第7位・男子400mフリーリレー 第8位・男子400mメドレーリレー 第8位
・女子50m背泳ぎ 第1位・女子200m個人メドレー 第6位・女子400mフリーリレー 第8位
令和4年度県高校新人水泳競技大会
・男子100m自由形 第8位・男子50m平泳ぎ 第8位・男子400mフリーリレー 第4位・男子400mメドレーリレー 第7位
・女子50m背泳ぎ 第2位・第5位・女子100m背泳ぎ 第5位
- 剣 道** 令和4年度玉竜旗高校剣道大会 出場 / 令和4年度第37回九州高等学校選抜剣道大会 男子団体・個人 出場
令和4年度県高校新人剣道大会 男子団体 4位・男子個人 2位
- 合 唱** 九州合唱コンクール佐賀大会 金賞 / 鹿児島ヴォーカルアンサンブルコンテスト 金賞
- 書 道** 第46回全国高等学校総合文化祭 東京大会 書道部門 出場
第60回記念南日本七夕書道展記念大賞
第75回鹿児島県書道展(硬筆の部)大賞
- 美 術** 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 美術工芸部門 出場 / 県高校美術展 高文連大賞
- 吹 奏 楽** 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 吹奏楽部門 出場
第6回全九州高等学校総合文化祭佐賀大会 九州高等学校文化連盟賞
第67回鹿児島県吹奏楽コンクール高等学校 A部門 金賞(4位相当)
- 放 送** 第69回NHK杯全国高校放送コンテスト 出場
- 演 劇** 第6回全九州高等学校総合文化祭佐賀大会 放送部門 出場
第31回鹿児島県高等学校演劇冬季県大会 最優秀賞



気迫！集中！我慢！

「Good, Bad, Nextで先を見られるチームへ」

特集1 ラグビー部

鹿児島玉龍高校ラグビー部は、創部75周年を迎えました。これまでの指導者や諸先輩方、また玉龍ラグビーに携わってこられたすべての方々が創られてきた伝統を、今に受け継ぎながら活動を続けています。

今現在では、部員確保という新しい課題も克服しなければならない状態です。もちろん「花園」という最終目標ではありますが、「ラグビー自体の楽しさ、面白さ、素晴らしさ」ということも、様々なところでアピールすることも必要になります。まずは、部員自らが「明るく！楽しく！元気よく！大好きなラグビーをやりきる！」ということも心掛けています。

そんな中、今年に入ってから行われた「鹿児島県高等学校新人ラグビーフットボール大会10人制の部」で優勝し、「第24回九州高等学校10人制ラグビーフットボール大会」に出場してきました。部員不足という苦しい現状ではありましたが、生徒たちは今持てる力を必死に出し切り、1位トーナメント第3位という結果を残しました。もちろん悔しい思いもありますが、必ず次へ繋がる大会になりました。

ラグビーは、ただがむしゃらにしても勝てないもの。1つ1つの経験をしっかり積み重ねていく、また常に思考を巡らせて行うスポーツ。そこには、身体づくりやスキルアップはもちろんですが、創意工夫も必要となってきます。まずは、自分自身またはチームの現状をしっかりと理解すること。次に練習やゲーム終了後に、常に「Good, Bad, Next」を考えることが大切。まずは、自分やチームの良かったところ（Good）を考え（Goodから出すことが重要です!）、そして悪かったこと・課題（Bad）を認識し、次の試合ではどうするべきか（Next）を考え共通理解をする。それらを繰り返しながら、自分たちにあったプレーを創意工夫することで、「強い玉龍ラグビー」に繋がって行くと思っています。

まだまだこれからの玉龍ラグビー部。全員で一致団結し、「花園」を目指して邁進していきます！



「歌は力、歌は希望」九州合唱コンクール金賞!!

特集2 合唱部



私たち、鹿児島玉龍中高合唱部の掲げるモットーは、「歌は力、歌は希望」。聴いてくださる方々に、歌うことの楽しさを伝えられる合唱を目指しています。顧問は、中学校の徳永賢子先生です。昨年度は、先生の熱いご指導のもと、高校は九州大会で金賞、中学生はアンサンブルコンテストで全国大会出場を果たしました。今年度は更なる飛躍を目指し、日々練習に励んでいます。

みなさんは合唱に対してどのようなイメージをお持ちですか？もしかしたら、どこか堅くて、近寄りがたいと思っている人も少なくないのかもしれませんが。実は私も、入部前はそう思っている一人でした。しかし、合唱はとても親しみやすく、底抜けに楽しいものです。例えば、玉龍合唱部では、ギター伴奏による合唱も行っています。ピアノ伴奏と比べると音は粗くなりますが、かえってその粗さ、思い切りの良さが爽快です。他にも、ダンスやヲタ芸(!?)との融合など、少々トリッキーで新しい試みを行っています。合唱には、ドレスコードなどないのです。

新型コロナウイルスの影響で、生活が一変し、合唱活動が制限される時期がありましたが、日常生活は回復に向かいつつあります。私たち合唱部は今こそ歌の力を信じ、社会に希望を届けられるようにこれからも歌っていこうと思います。鹿児島玉龍から合唱の輪を広げられるよう、これからも部員一同頑張ります！

「自分の声で、彩りと自信を！」

特集3 放送部



放送部は中高合同で活動しており、現在部員数は15名です。一年を通して玉中戦や文化祭、体育祭などの司会進行を努め、学校行事を盛り上げています。また、昨年度は東京で行われたNHK杯全国放送コンテストや佐賀で行われた九州高校放送コンテストへの出場も果たしました。

話し方は、人の印象を大きく左右します。放送部では、日本語の正しい発音の仕方や話し相手に伝わりやすい発声方法を学ぶことができ、自分の声を使ったりしたい自分に近づくことができます。放送部読み班には、課題図書の中から好きな場面を抽出し読む朗読部門と、高校生活をテーマに自ら原稿を作成し読むアナウンス部門があります。「放送」と聞くと、一見、文章を声に出して読むという誰もがやったことのある簡単なものに見えますが、一音目をどの高さから出すのか、文章の間にどれくらいの間を持たせるのか、より説得力を出すためにはどのようなスピードで読めばよいのかなど、一つの原稿から自分の納得のいく作品に仕上げるまでには、深く細かい様々な工夫を施します。何度も練習を繰り返し、こだわり抜いた作品ができたときの喜びは、何ともいえない達成感を得られると共に、自信にもつながります。日々の練習では、基本的な発声練習はもちろんですが、自分の声を客観的に見てもらい、読み方の癖や苦手な部分を発

見することがとても大事になります。玉龍放送部には、和気あいあいとした雰囲気の中で、互いに刺激し合い高め合いながら、共に成長できる心強い仲間たちがいます。人前で少しでも堂々と話せるようになりたい、唯一無二の自分の声で一つの作品を作ってみたい…一歩進んで放送の世界にハマってみませんか？

貴重な高校三年間で得られた言葉の技術は、これからの生活に自信と彩りと与えてくれること間違いありません。

志は高く ~真の文武両道を目指して~

特集4 剣道部

剣道部は過去に団体・個人ともに県大会優勝の実績を残している県内屈指の古豪として知られています。現在1年生7名、2年生8名、3年生3名の計18名の部員と顧問3名が、真の文武両道を目指し、先輩方が築かれた伝統を継承すべく稽古に励んでいます。

現チームは「全国制覇」という高い目標を設定し、そのために数多くの県外遠征をこなし、全国の強豪と切磋琢磨しています。また、3名の顧問の先生方も、指導だけでなく剣道修行者としての側面を持ち、日々「師弟同行」を実践しています。

令和4年度には県新人大会団体ベスト4、個人準優勝の成績で九州選抜大会に出場しました。今回は残念ながら上位進出はならず、悔しい思いもしましたが、全国トップレベルのチームと互角に渡り合い、勝利をあげることもでき、着実に力がついているという手応えを感じることができました。

ただ、これらは自分たちだけの努力の成果ではありません。2面取れる専用の剣道場や、3名の剣道専門家の先生方の指導が受けられるという充実した稽古環境、保護者会・剣道部OB会・同窓会の方々という「チーム玉龍」のバックアップなどがあってのことです。支えてくださる周囲の方々への感謝の気持ちを常に持ち続けることが、剣道の力だけでなく、人間としての成長にもつながると信じています。

また、学業にも手を抜くことなく、例年国立大学や公務員など、自分で定めた進路の実現を果たしています。学業に真摯に取り組むことで剣道も強くなり、剣道に真摯に取り組むことで学業が伸びる…という好循環が剣道部には出ています。

全日本剣道連盟が制定した「剣道の理念」には「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」とあります。剣道部は、この「剣道の理念」と本校の伝統である「文武両道」「行学一体」の実現を目指し、高い志を掲げて日々稽古に励んでいます。



アクセスMAP



- JR・JR九州バス ① JR 鹿児島駅鹿児島駅から徒歩15分
- 市電 ⑥ 桜島棧橋通から徒歩15分
- 南国交通バス ② 清水町下車7分 ③ 上竜尾町下車5分
- ⑤ 玉龍高校前下車3分
- 鹿児島交通バス ② 清水町下車7分 ④ 久保皮膚科前下車3分
- 市バス ③ 上竜尾町下車5分

玉龍HPの紹介

玉龍高校公式ホームページと進路室が発信している進路ブログがあります。是非見に来てください。



玉龍高校公式ホームページ
<https://www.keinet.com/gyokuk/>



玉龍高校進路ブログ
<http://gyokuryuu.exblog.jp>



お問い合わせ

〒892-0806 鹿児島県鹿児島市池之上町20番57号 TEL 099-247-7161 FAX 099-248-3160



鹿児島玉龍高等学校

KAGOSHIMAGYOKURYU HIGH SCHOOL